

神戸新聞に掲載されました！

〈鳴尾北小学校 English 出前授業〉

国際文化情報学科1、2年生が体験しました「鳴尾北小学校 English 出前授業」の様子が神戸新聞阪神版(2023年7月12日付)に掲載されました!! 今年は、実際に鳴尾北小学校へ取材に来て頂きました。小学生もとても楽しく授業を受けてくれたようで、学科1、2年生の「高校生」先生たちの努力の成果が大いに発揮されました。

学科の生徒たちも「教わる」立場から「教える」立場を経験し、多くの気づきと学びがあったようです。今度は、鳴尾高校にも遊びに来て下さいね!! See you!!

小学校低学年の子どもたちに英語の楽しさを感じてもらおうと、鳴尾高校(西宮市学文殿町2)の国際文化情報学科1、2年生75人が10日、隣にある鳴尾北小学校を訪れ、英語の出前授業をした。英語の歌やクイズ、ゲームを通じ、年齢を超えて交流を深めた。(山岸洋介)

鳴尾高生が鳴尾北小で出前授業

高校生が伝える英語の楽しさ

歌や紙芝居を交え



同学科では英語を重点的に学んでいる。出前授業は鳴尾高が「学びを地域に役立てたい」と鳴尾北小に提案し、2年前から実施。教

える立場を生徒が経験することに、スリーチや発表などの伝える力を磨く効果も出ているという。高校生は数人ずつの11班

に分かれ、小学1年の5クラスと2年の6クラスをそれぞれ担当。授業が始まると「みんなで歌おう」と呼びかけ、日本で「きんぎょ」星「大きな栗の木の下で」として知られる英語の童謡などを一緒に歌った。1年生の教室では、昔話「桃太郎」に出てくる英語をゲーム形式で紹介し、紙芝居や劇を演じた。

児童は「ABCの歌」で最初に決めたアルファベットの部分に来ると手をたたくゲームや、席の前から後ろへ英語を伝えていく伝言ゲーム、英語のO×クイズなどを楽しんだ。2年の森都美さん(8)は「野球は英語でベースボールです」と答えたらずこ褒めてもらった。楽しかった」と笑顔だった。

同学科2年の藤田桃子さん(16)は「今年はマスクなしだったので声や表情で伝えるよう工夫した。英語に親しんでもらえるよう準備したことが笑り、盛り上がりつつうれい」と手こを語った。

英語の出前授業で小学生に教える鳴尾高校の生徒ら(西宮市学文殿町2)

